

ようこそ 鶴岡のむかしへ
見て・ふれて・歴史を感じてみよう

期日：2010年7月17日(土)～8月29日(日)

時間：9時30分～17時(平日)

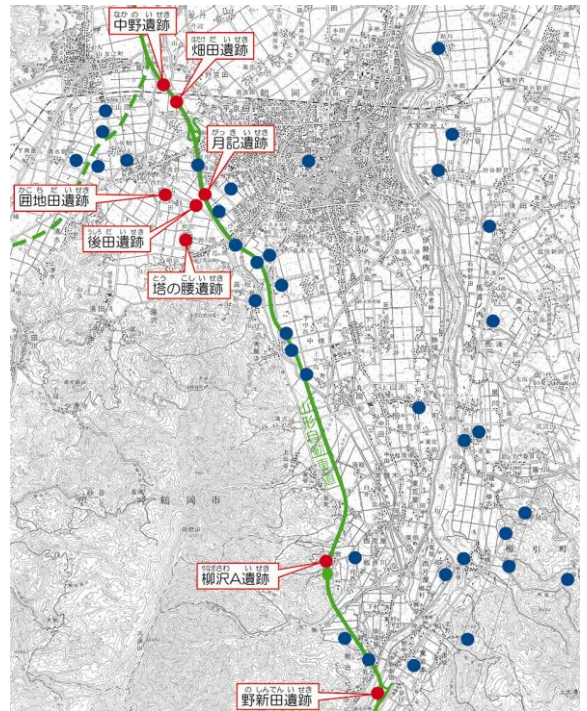
会場：鶴岡市立図書館

主催 鶴岡市教育委員会

(財) 山形県埋蔵文化財センター

つるおかしとお こうそくどうろ
鶴岡市を通る高速道路がつくられることになり、そ
れにあわせて発掘調査が行われました。その結果、
おほ いせき
多くの遺跡が見つかり、そこからたくさんの出土品
がはっけん
が発見されています。この展示会では、その一部を
しょうかい つるおか
紹介し、みなさんが鶴岡の歴史を見て・ふれて・感
じて欲しいと思います。

鶴岡市にある遺跡の多くは、川沿いの地域から発見されています。このことから、この地域は古くから食料などを手に入れるのに、とても便利な場所であったと考えられます。また、庄内と内陸を最短距離で結ぶ交通の重要地点としても発達していました。



鶴岡市の遺跡

● 鶴岡市の遺跡

☐ 展示遺跡

のしんでん
野新田遺跡

縄文時代 約4500年前～

しょうないちぼう
庄内地方においては、これまであまり調査されるこ
とがなかった縄文時代の貴重な遺跡です。縄文人が
住んでいた竪穴住居からは、たくさんの縄文土器が
はっけん
発見されています。石囲い炉では縄文土器をつかっ
て食べ物などを煮ていました。また山から採ってき
た木の実などは土器にたくわえていました。住居の
ゆか
床も広く、径5mほどの大きさで円や楕円の形をし
ていました。



野新田遺跡・土偶



野新田遺跡・縄文土器

はたけだ 畑田遺跡

古墳時代

約1700年前～

家全体が、溝で囲まれた住居跡が見つかります。北陸地方でたくさん発見されている土器と同じ種類の土器も発見されており、交流があったのではないかと考えられています。しかし、残念ながらこの時代の古墳はまだ見つかりません。



畑田遺跡・土師器（はじき）

かこちだ 囲地田遺跡

古墳時代～平安時代

約1500年前～約800年前

平安時代に使われた、墨書土器が出土しています。文字が書かれた土器を墨書土器といいます。役所名や官職名の他に人名を記したもの、人の顔を描き病気など自分の身体の悪いものを土器に移して流そうとするものなど、さまざまな目的で使われています。



囲地田遺跡・墨書土器（ぼくしょ）

うしろだ 後田遺跡

古墳時代～近世

約1700年前～

たくさんのお木製品が発見されています。特に、笹塔婆は、墨でお経を書いた細長い木を、死んだ人をとむらうために、川に流したと考えられています。その他に、農作業で使われた「田げた」や「すき」なども、もとの形に近い状態で見つかりました。



後田遺跡・笹塔婆（ささとうば）

とうのこし 塔の腰遺跡

平安時代～鎌倉時代

約1200年前～約700年前

溝で区切られた鎌倉時代の屋敷の跡が見つかります。それと一緒に木でできた井戸の跡も出土し、屋敷の住人が使用していたようです。近くからは、後田遺跡や囲地田遺跡、月記遺跡などたくさんのお木製品が発見されており、古くから人々が生活を営んできた地域であることが分かっています。



塔の腰遺跡・井戸のあと